

(資料 1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和 7 年 9 月 11 日
四 国 森 林 管 理 局

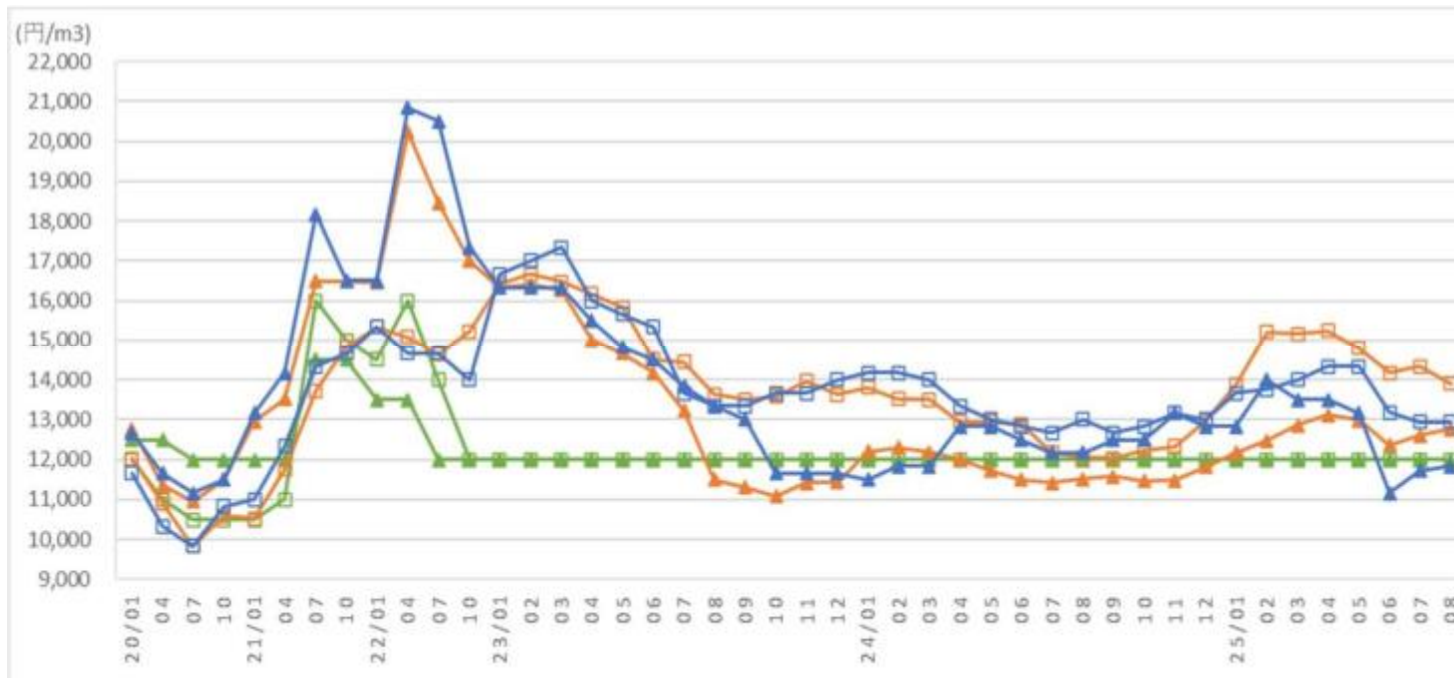
目 次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	丸太取扱量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	8
3	製材品価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	9
III	全国の丸太価格の動向・・・・・・・・・・・・	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移・・・・・・・・	12
2	全国の住宅着工戸数の推移・・・・・・・・・・・・	13

Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移（スギ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では5月から6月は下落傾向にあったが、7月からやや強含み。
- 徳島県は、令和4年7月以降、横ばいで推移。
- 令和7年8月のスギ丸太価格は、前年同月比97%から115%。



○ 8月のスギ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	12,762	11,523	111%
	□ 4 m材	13,903	12,067	115%
高知県	▲ 3 m材	11,833	12,167	97%
	□ 4 m材	12,938	13,000	100%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移（スギ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県は概ね横ばいで推移。
- 徳島県は横ばいで推移。
- 令和7年8月のスギ丸太価格は、前年同月比100%から108%と高値で推移。



○ 8月のスギ丸太価格

(円/m³)

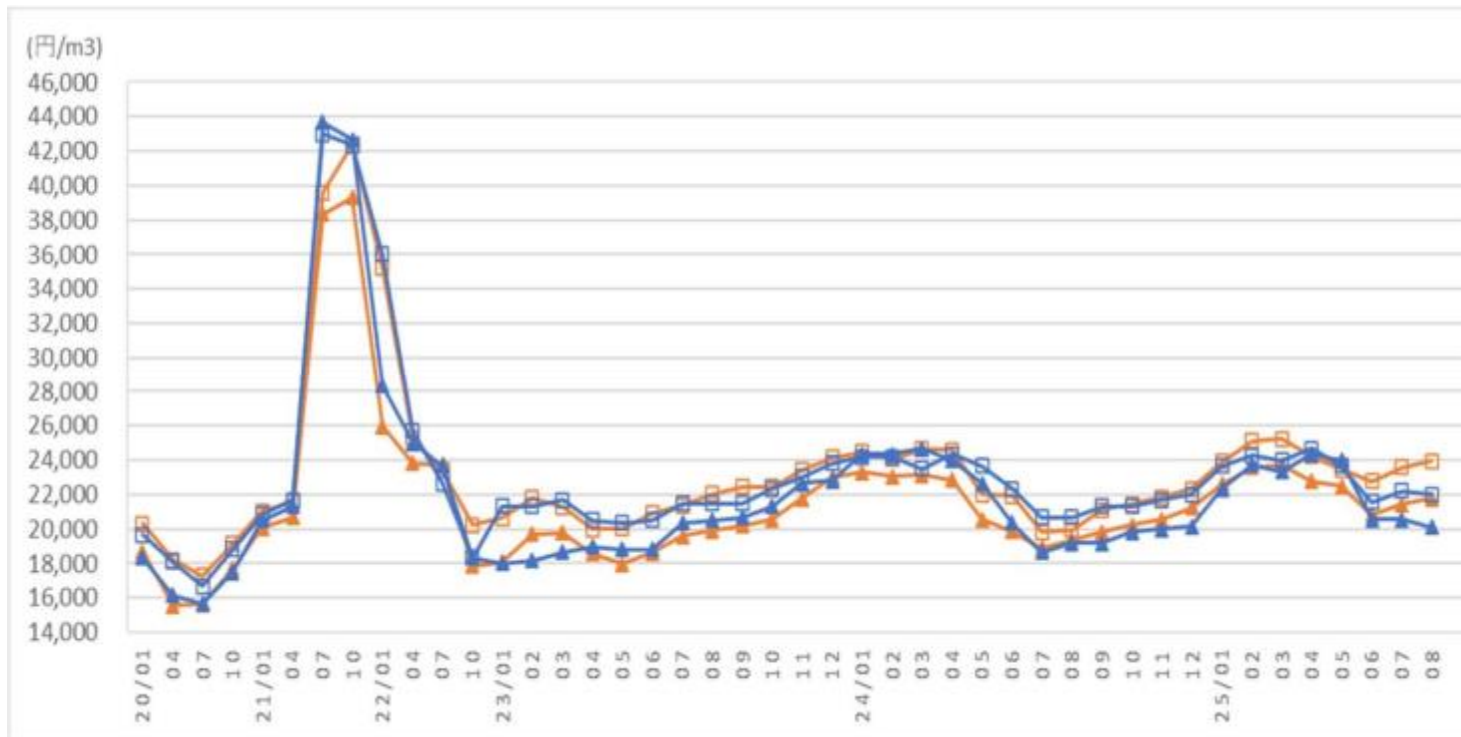
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	13,000	12,000	108%
	□ 4 m材	18,000	18,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	15,167	14,203	107%
	□ 4 m材	15,411	14,733	105%
高知県	▲ 3 m材	15,167	14,167	107%
	□ 4 m材	14,333	13,500	106%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移（ヒノキ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも4月から6月は下落傾向にあったが、7月からやや強含み。
- 令和7年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比105%から120%と高値で推移。



○ 8月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	21,767	19,392	112%
	□ 4 m材	23,924	19,933	120%
高知県	▲ 3 m材	20,111	19,167	105%
	□ 4 m材	22,000	20,667	106%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも概ね横ばいで推移。
- 令和7年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比109%から116%と高値で推移。



○ 8月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	21,733	18,733	116%
	□ 4 m材	21,333	19,500	109%
高知県	▲ 3 m材	22,333	20,000	112%
	□ 4 m材	22,667	20,333	111%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

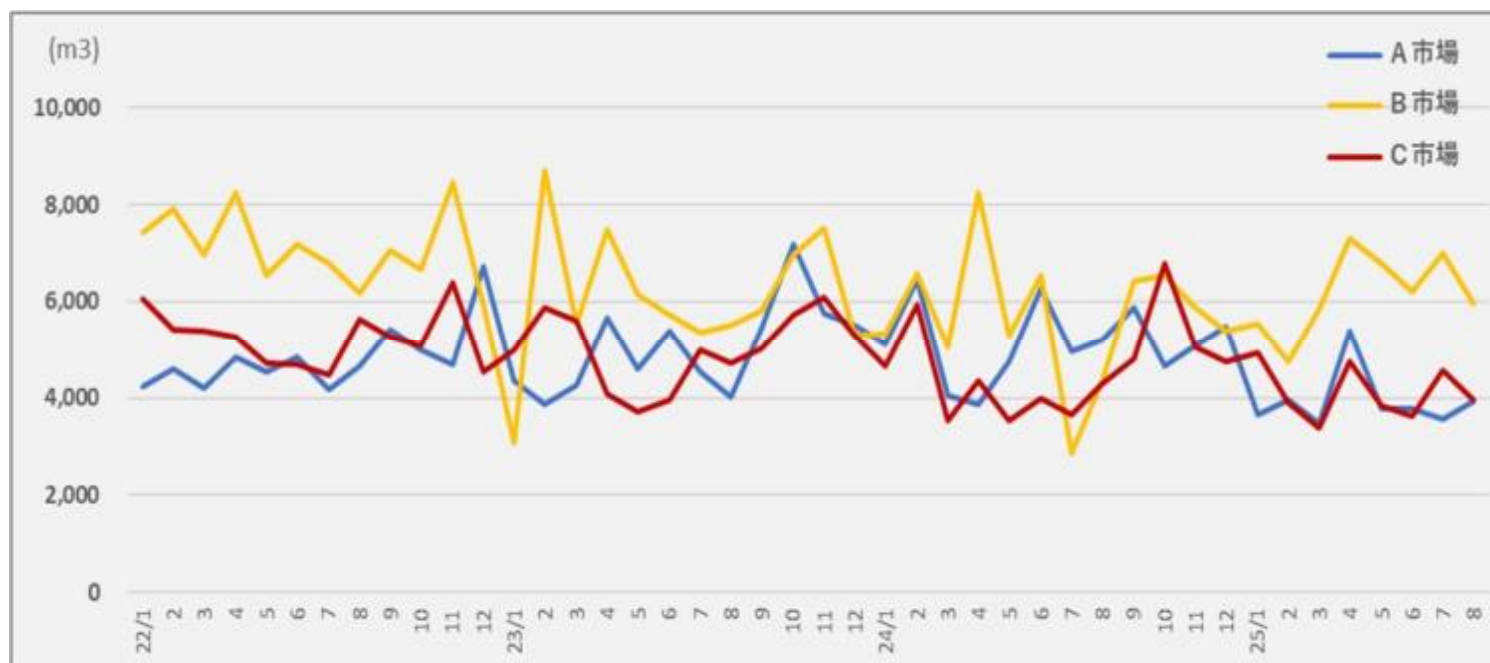
Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 愛媛県内の丸太取扱量

- 主な原木市場・共販所における8月の丸太取扱量は、前月比92%と減少。
- 直近3か月（6～8月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると101%だが、市場によっては69%となっている。

直近3か月（6～8月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	11,278	16,445	69%
B市場	19,175	13,757	139%
C市場	12,142	11,914	102%
計	42,595	42,116	101%



（市場関係者のコメント）

・ 8月の入荷量は猛暑とお盆休みで減少となった。

・ 出材量が少なく、引き合いはあり引き続き良好。引き取りも良好。

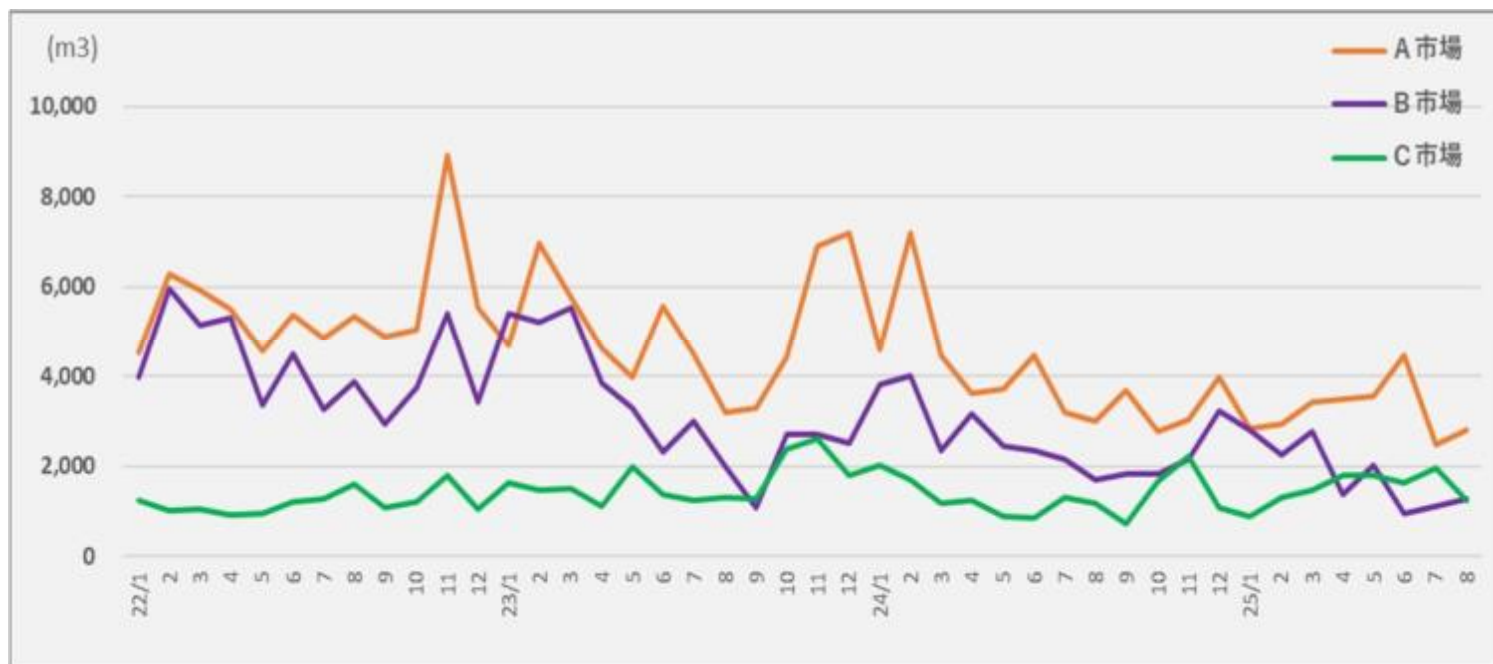
・ 今後は時期もよくなり出材量は増加してくると思われる。引き合い、価格は現状で推移すると思われる。

2-(2) 高知県の丸太取扱量の推移

- 主な原木市場・共販所における8月の丸太取扱量は、前月比95%と減少。
- 直近3か月（6～8月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると88%だが、市場によっては53%となっている。

直近3か月（6～8月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	9,714	10,650	91%
B市場	3,304	6,200	53%
C市場	4,800	3,305	145%
計	17,818	20,155	88%



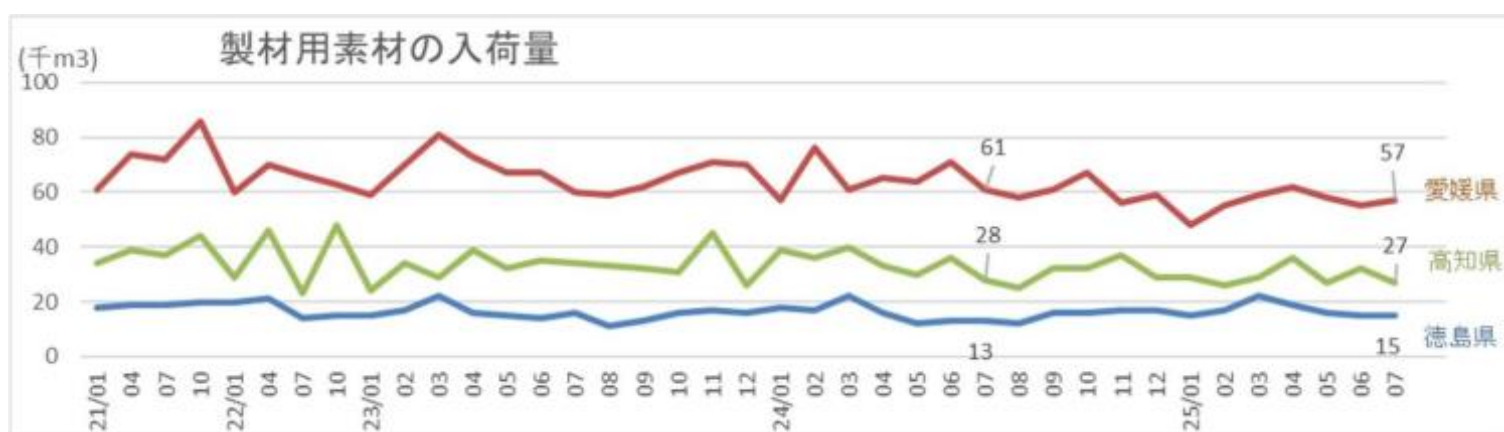
（市場関係者のコメント）

- ・ 入荷量はスギ・ヒノキともに少ない状況が続いている。
- ・ 原木不足から引き合いは強いが、価格への影響はあまり見られない。材の引き取りは良好。
- ・ 新しい買い方が増えた。
- ・ 今後は時期もよくなり出材量は増加する見込み。引き合いは強く価格は強含みで、ヒノキは品薄高と思われる。

Ⅱ 管内における製材等の状況

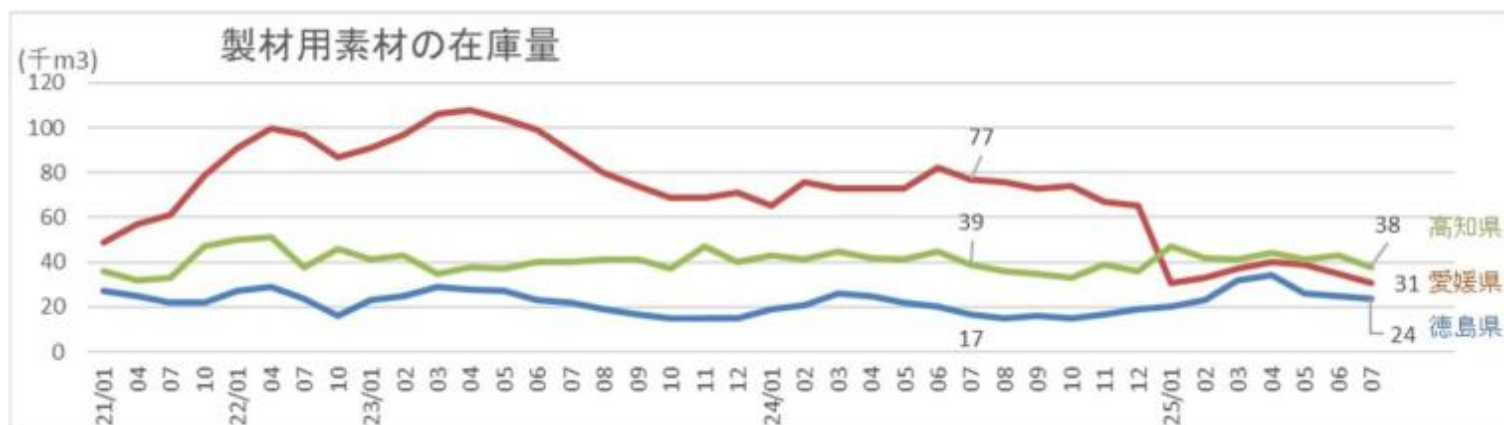
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の5～7月の製材用素材の入荷量は、302千m³（前年比92%）と減少。徳島県は増加、愛媛県、高知県は減少。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、34千m³（前年比74%）と減少。徳島県は増加、愛媛県は大幅に減少、高知県は横ばい。



（千m³）

5～7月製材用素材入荷量			
	2025年	2024年	前年比
徳島	46	38	121%
愛媛	170	196	87%
高知	86	94	91%
四国計	302	328	92%

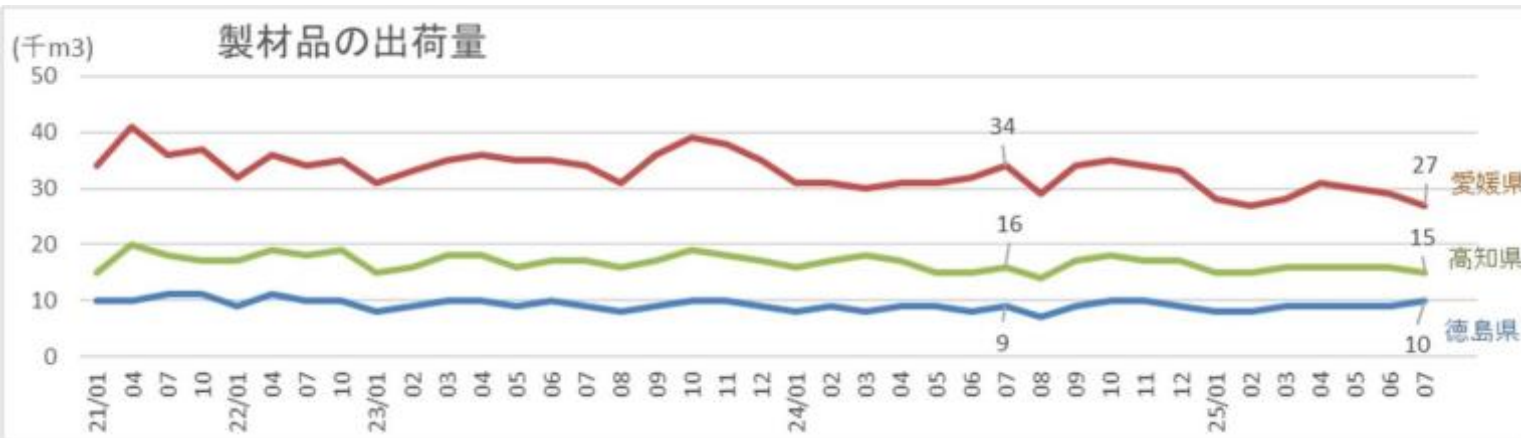


（千m³）

5～7月製材用素材在庫量（月平均）			
	2025年	2024年	前年比
徳島	25	20	125%
愛媛	35	77	45%
高知	41	42	98%
四国計	34	46	74%

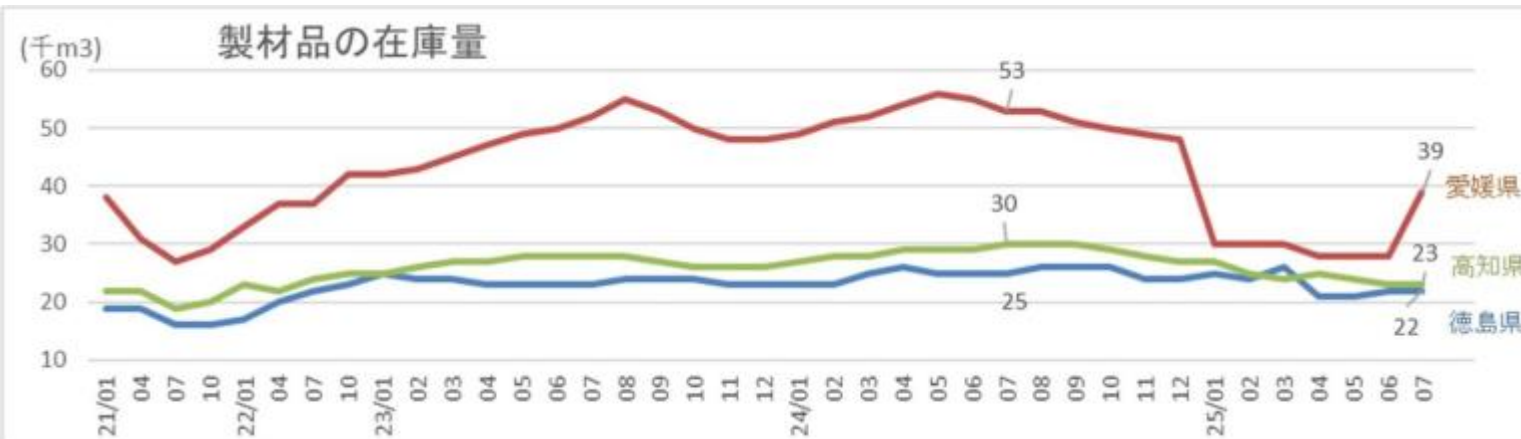
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の5～7月の製材品出荷量は、161千m³（前年比95%）と減少。徳島県は増加、愛媛県は減少、高知県は横ばい。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、26千m³（前年比72%）と減少。徳島県、愛媛県、高知県3県ともに減少し、特に愛媛県は大幅に減少。



(千m³)

5～7月製材品出荷量			
	2025年	2024年	前年比
徳島	28	26	108%
愛媛	86	97	89%
高知	47	46	102%
四国計	161	169	95%

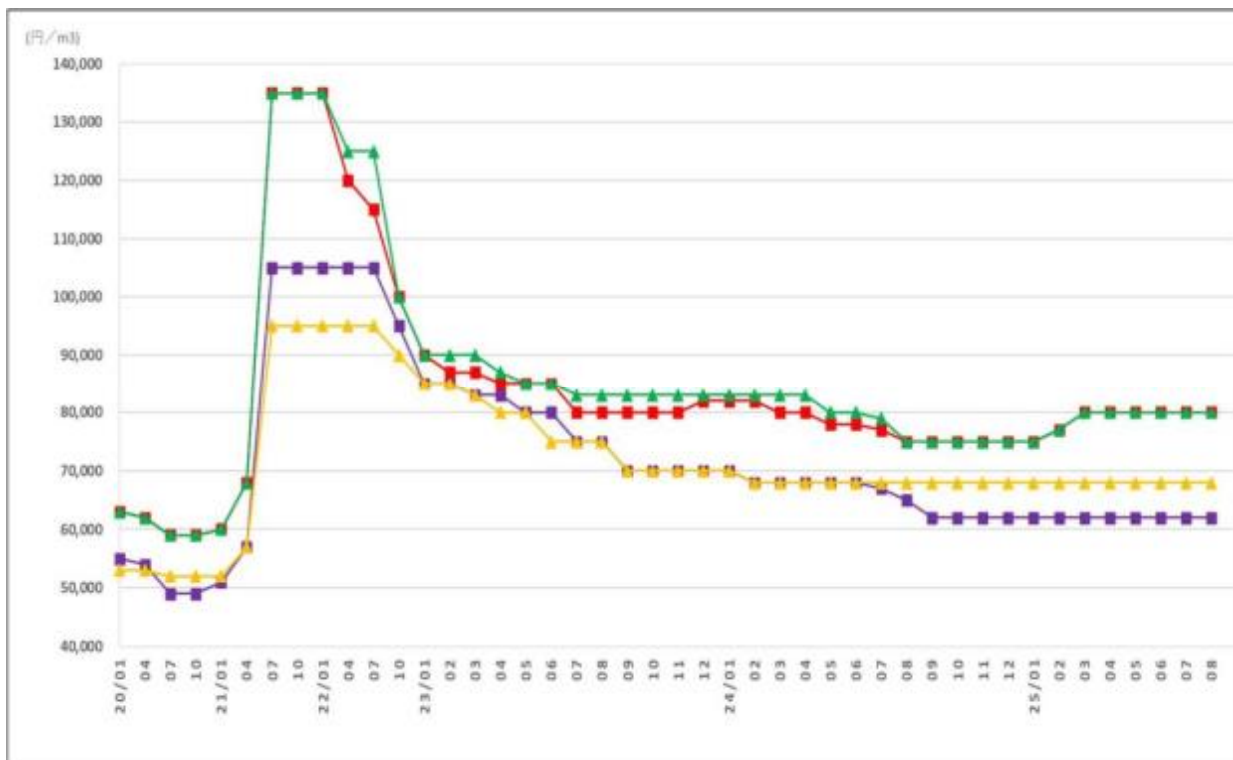


(千m³)

5～7月製材品在庫量（月平均）			
	2025年	2024年	前年比
徳島	22	25	88%
愛媛	32	55	58%
高知	23	29	79%
四国計	26	36	72%

3. 製材品価格の推移

- 令和7年に入って、スギは横ばいで推移。ヒノキは2・3月に値を上げ、以降は横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは95%から100%。ヒノキは107%。

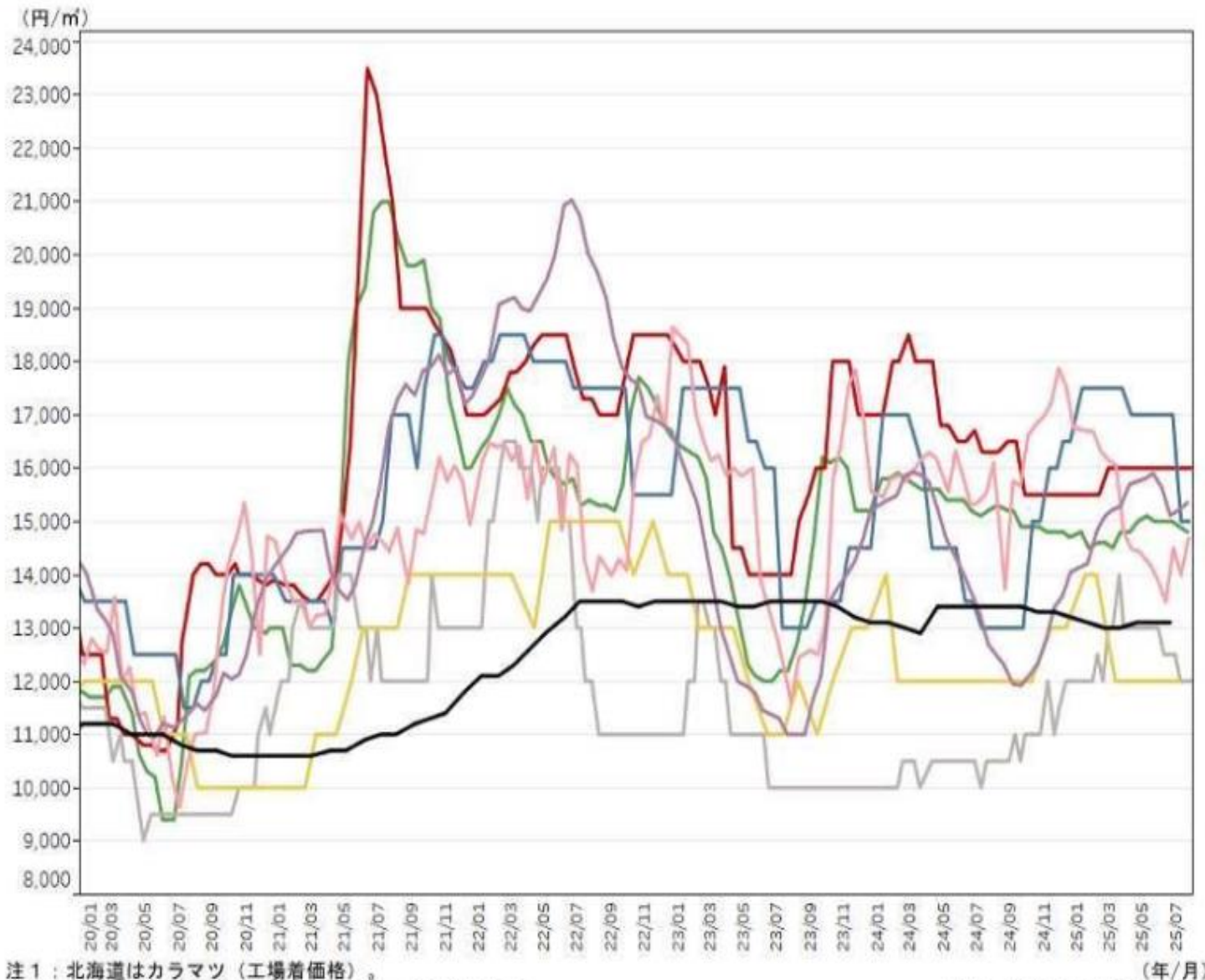


国産材製品の相場（愛媛県）令和7年8月（市売価格） (円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
■ スギ柱 3m×105mm角KD特等	62,000	65,000	95%
▲ スギ間柱 3m×105×30mm角KD特等	68,000	68,000	100%
■ ヒノキ柱 3m×105mm角KD特等	80,000	75,000	107%
▲ ヒノキ土台 4m×105mm角KD特等	80,000	75,000	107%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,000円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

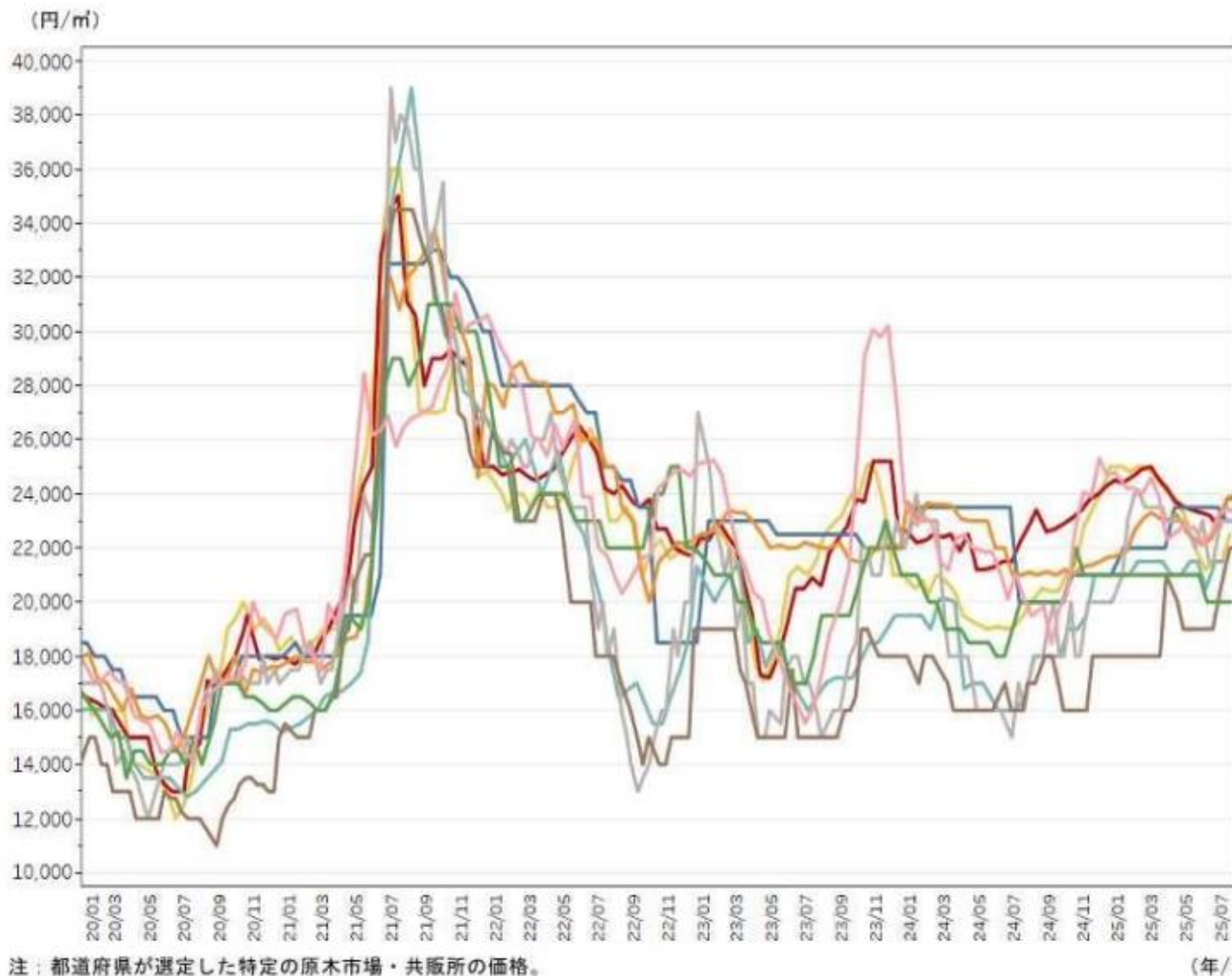
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,100	13,400	98%
秋田県	15,350	12,690	121%
栃木県	14,680	15,520	95%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	12,000	10,500	114%
高知県	15,000	13,000	115%
熊本県	16,000	16,300	98%
宮崎県	14,800	15,200	97%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、20,000円~23,900円/㎡となっている。



注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(単位：円/㎡)

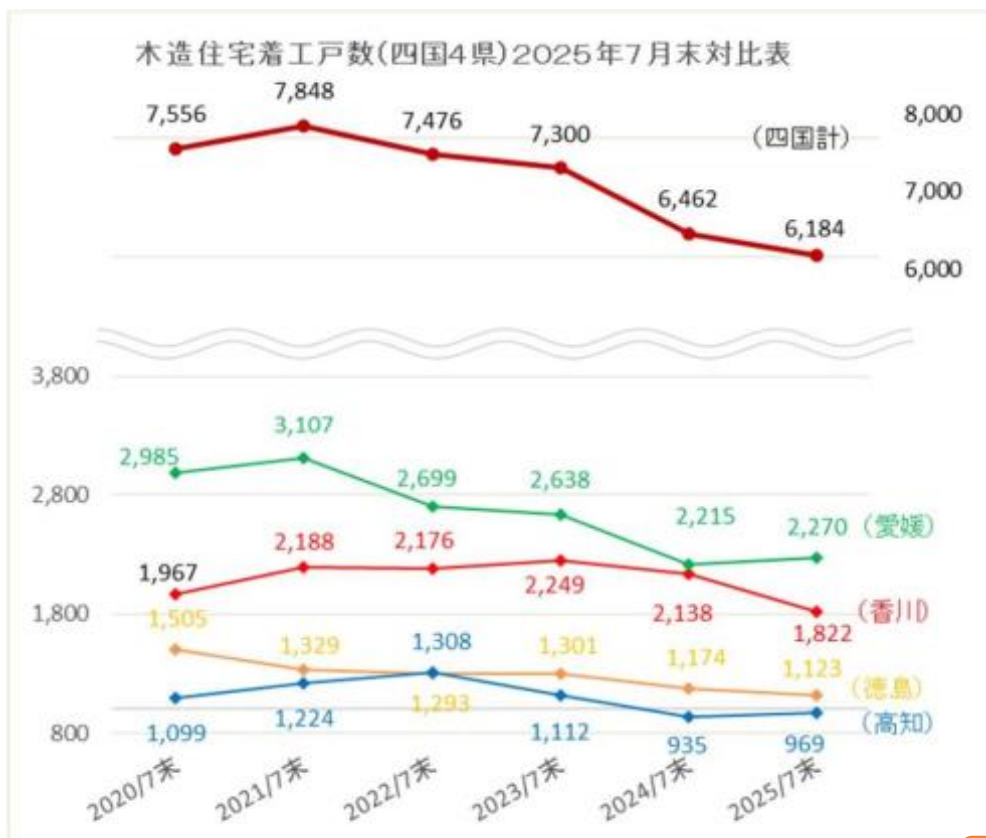
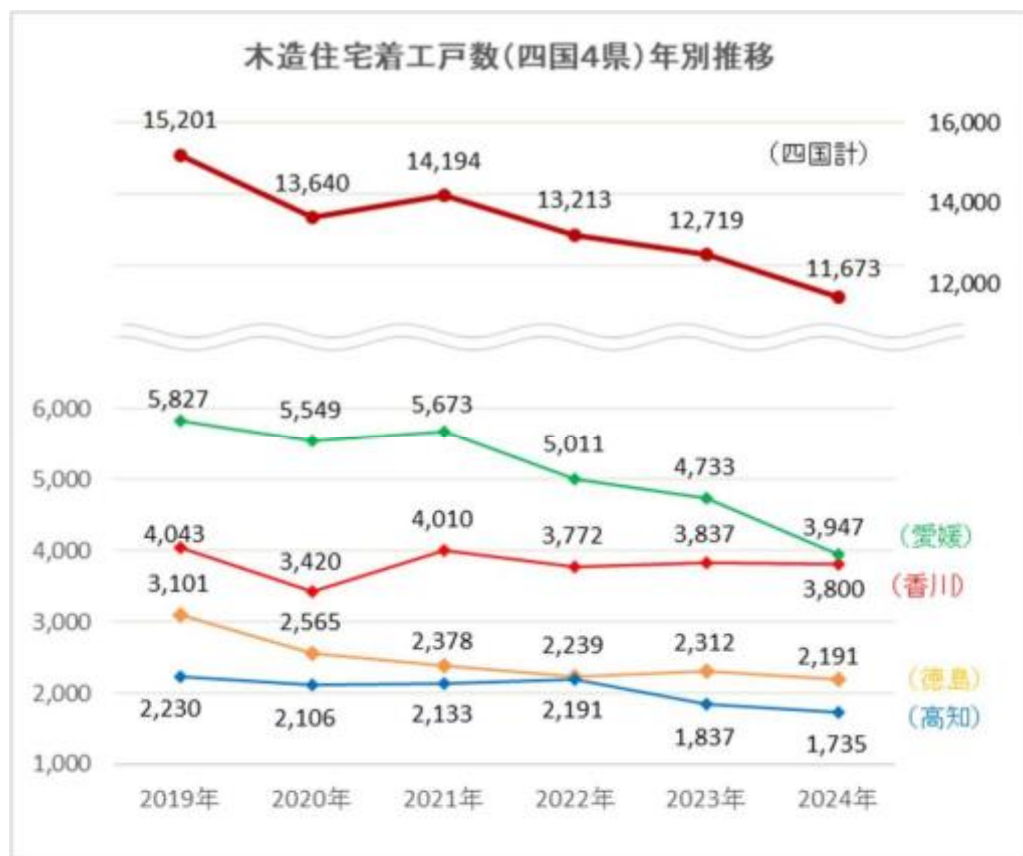
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	23,380	20,150	116%
静岡県	20,000	20,000	100%
兵庫県	22,000	17,000	129%
岡山県	23,000	17,000	135%
広島県	21,500	16,000	134%
愛媛県	23,900	21,100	113%
高知県	23,000	20,000	115%
熊本県	23,900	22,900	104%
大分県	22,500	19,500	115%

※各県7月の値を使用。

Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2019年～）

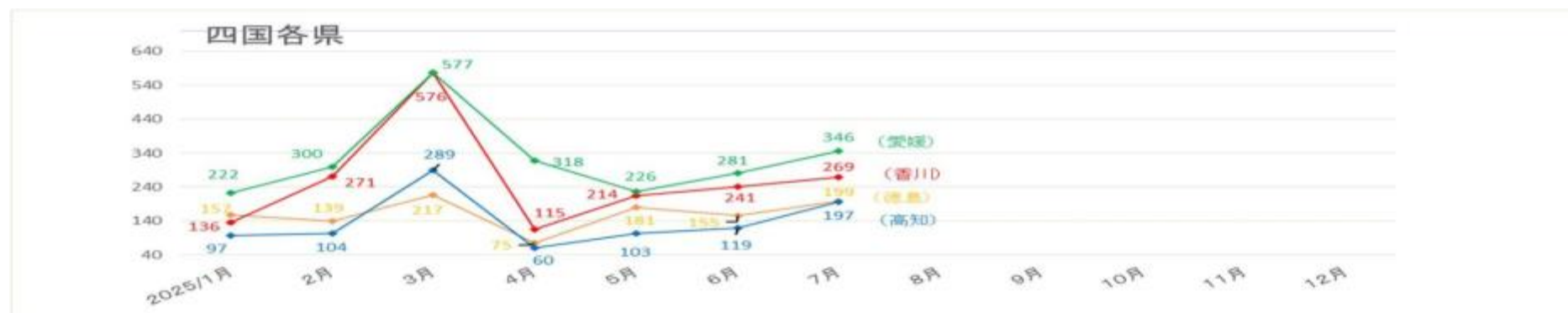
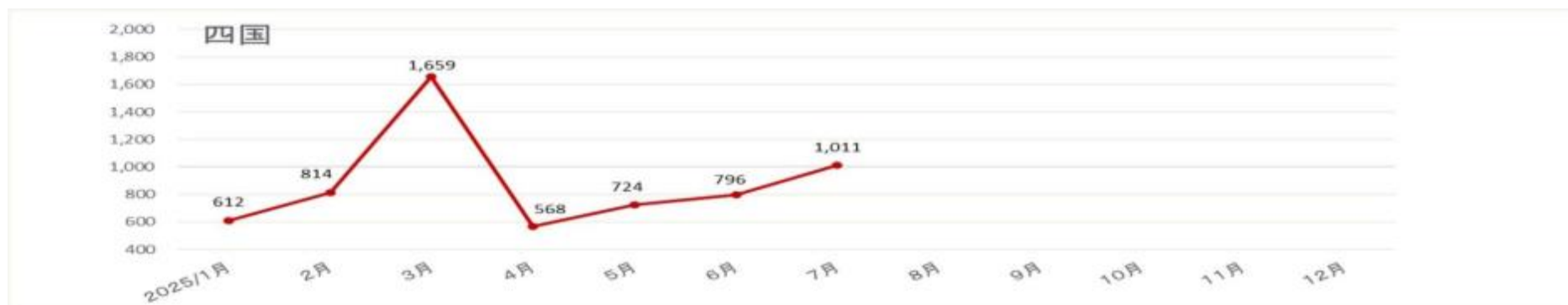
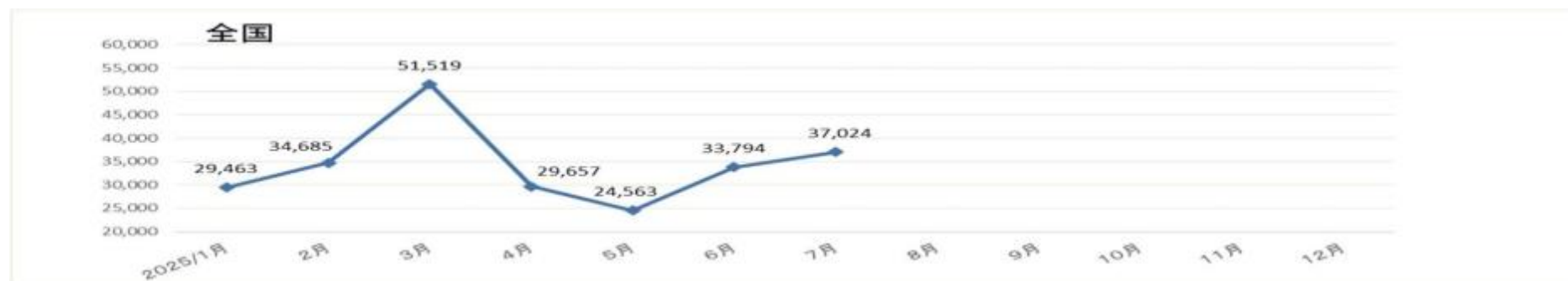
- 2025年7月末現在四国全体では6,184戸（前年比95.7%）。県別をみると、徳島県1,123戸（前年比95.7%）、香川県1,822戸（前年比85.2%）、愛媛県2,270戸（前年比102.5%）、高知県969戸（前年比103.6%）



Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2025年）

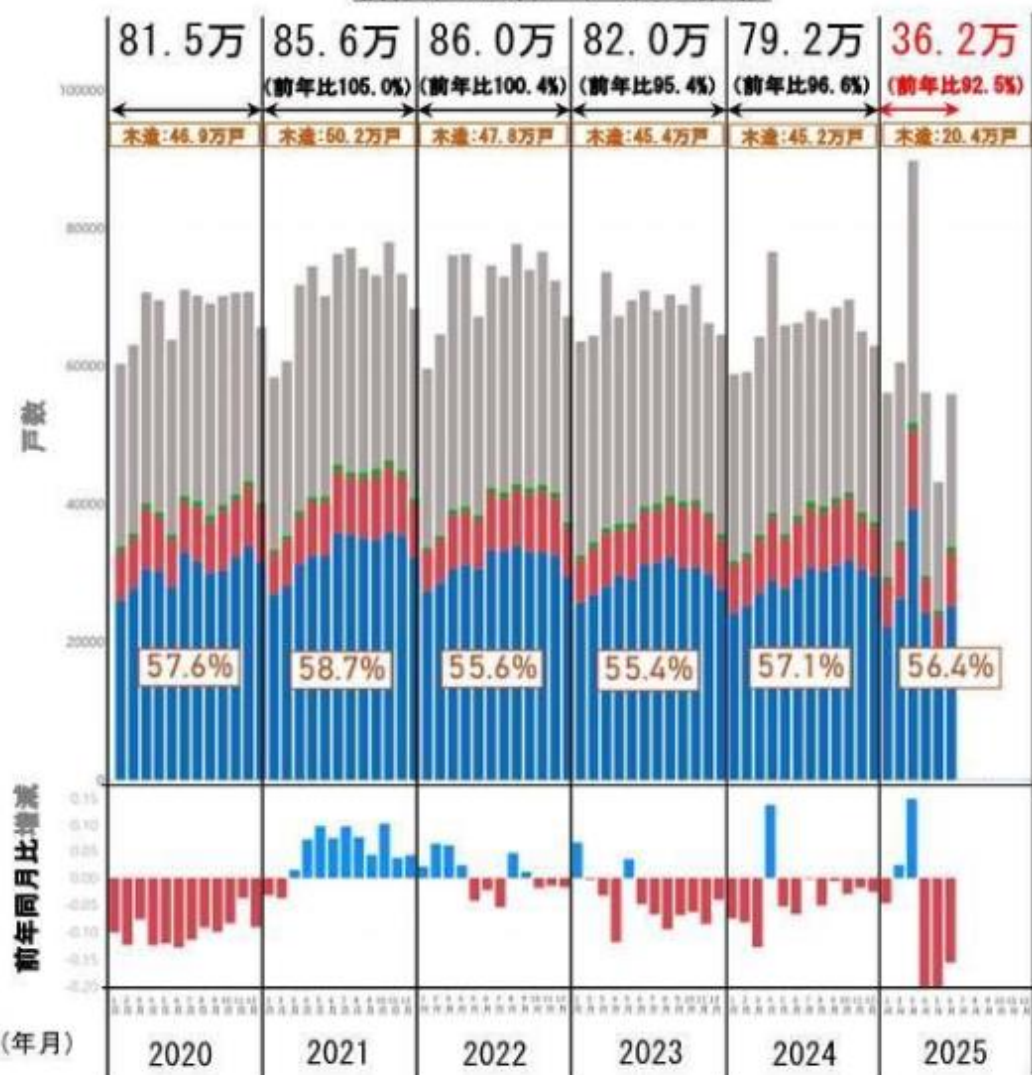
- 3月の建築基準法改正前の駆け込み需要の反動で、4月の四国全体の着工戸数は3月から67.3%と大幅な減少となったが、5月以降は回復傾向にある。



2 全国の住宅着工戸数の推移（2020年1月～2025年6月）

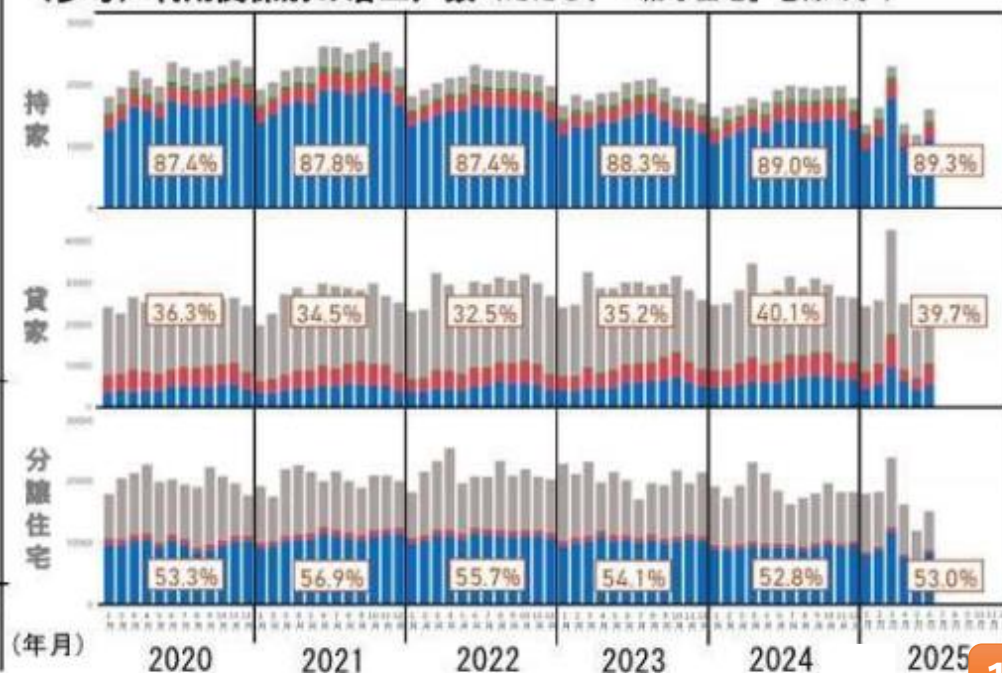
- ・ 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- ・ 2025年1～6月の新設住宅着工戸数は36.2万戸（前年同期比92.5%）、このうち木造住宅は20.4万戸（同95.7%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2025年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	361,900	391,118	92.5%	409,549	88.4%
■ 非木造	157,900	177,971	88.7%	191,911	82.3%
■ 木造	204,000	213,147	95.7%	217,638	93.7%
■ 木造プレハブ	5,236	4,811	108.8%	5,026	104.2%
■ 2×4	43,180	45,871	94.1%	42,103	102.6%
■ 在来軸組	155,584	162,465	95.8%	170,509	91.2%
□ 木造率	56.4%	54.5%		53.1%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年4月～令和7年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和7年4月～令和7年7月)

【スギ中丸太】 ・ 5月から5ヶ月連続上昇した動きがあった。

【ヒノキ中丸太】 ・ 5月まで5ヶ月連続上昇した動きがあったが、その後は動きはない。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年4月～令和7年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和7年4月～令和7年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和7年4月～令和7年7月)

【徳島県・愛媛県スギ】 ・ 7月に定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあった。

【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・ 7月に定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあった。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

		逸脱上限値 5.83%		逸脱下限値 -5.84%						逸脱上限値 21.74%		逸脱下限値 -22.25%		逸脱上限値 17.61%		逸脱下限値 -19.04%	
		前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
		4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月
スギ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）		1.19%	2.12%	0.74%	1.53%	4	5	6	7	11.36%	13.24%	12.32%	13.99%	7.71%	8.88%	7.73%	8.76%

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

		逸脱上限値 8.92%		逸脱下限値 -9.08%						逸脱上限値 39.19%		逸脱下限値 -40.25%		逸脱上限値 28.91%		逸脱下限値 -32.41%	
		前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
		4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月
ヒノキ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）		3.98%	2.04%	-2.09%	-1.40%	5	6	-1	-2	1.06%	3.33%	4.62%	7.87%	7.54%	7.17%	2.32%	0.39%

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率					
	4 月	5 月	6 月	7 月	逸脱上限値	逸脱下限値
スギ製材用素材（徳島・愛媛）	1.02	0.90	0.84	0.75	1.87	0.77
ヒノキ製材用素材（愛媛・高知）	0.96	0.92	0.90	0.79	1.58	0.87

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。